

ETC 北陸自動車道 ^{あたら} 安宅PAでスマートIC 社会実験を実施します！

～石川県内で3箇所目のETC専用仮出入口の社会実験実施決定～

本日、国土交通省より北陸自動車道安宅PAにおけるスマートIC社会実験の採択が通知され、社会実験の実施が決定しました。石川県内では、北陸自動車道の徳光スマートIC、尼御前SAスマートICに次ぐ3箇所目の実験となります。今後は、福井・加賀方面から小松空港へのアクセス強化と小松工業団地等周辺施設の利便性を図るため、関係機関からなる「安宅PAスマートIC社会実験協議会（仮称）」を設立し、工事に着手するなど、実験が開始できるよう準備を進めます。



スマートIC社会実験は国と自治体等が共同で、スマートIC運営上の課題を把握するため、一般道に容易に接続可能な既存のSA・PA、本線等にETC専用の仮出入口を設置する実験です。これまでに全国39箇所の実験を実施し、そのうち31箇所で大規模導入されています。石川県内では、北陸自動車道の徳光スマートIC（本格導入済）、尼御前SAスマートIC（社会実験終了）に次いで3箇所目の社会実験となります。今後は、関係機関からなる「安宅PAスマートIC社会実験協議会（仮称）」を設立し、工事に着手するなど、実験が開始できるよう準備を進めます。なお実験開始日等が決定次第、改めてお知らせします。

【問い合わせ先】安宅PAスマートIC社会実験準備会

国土交通省 金沢河川国道事務所 調査第二課長 向田 満 TEL(076)-264-8800

石川県 土木部 道路建設課 課長 鶴井 秀樹 TEL(076)-225-1721
中日本高速道路(株)金沢支社 企画調整チームリーダー 望月 俊明 TEL(076)-240-4930(代)

【社会実験の概要】

目的 社会実験を通じて、スマートICを設置することによる効果及び整備・運営上の課題を事前に把握するとともに本格導入に向けて、地域住民の利便性向上、産業経済の活性化、交流の促進等の効果について把握することを目的として実施します。

実験箇所 北陸自動車道 安宅PA（石川県小松市日末町^{ひずえまち}）
片山津ICから4.0km
小松ICから4.6km

利用方向 **福井方面への出入りのみ**

利用時間 6:00～22:00（16時間）

対象車種 ETC車載器搭載の二輪車、軽自動車、普通車、中型自動車、大型車、特大車
ただし、通行可能対象車長L=12m以内、高さH=3.8m以下、幅w=2.5m以下

【協議会について】

「安宅PAスマートIC社会実験協議会（仮称）」はスマートICの設置および社会実験運営に関する役割分担、ETC専用出入り口の計画、管理運営方法、実験実施の効果把握及びETCの普及、利用促進などについて協議するものです。

協議会は国土交通省、石川県、福井県、小松市、中日本高速道路㈱ならびに商工会議所、鉄工団地協同組合等で構成する予定です。

